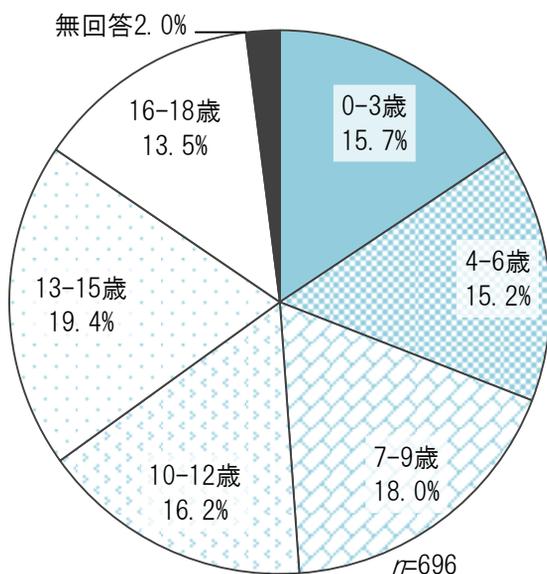


問1

宛名の子の生年月日

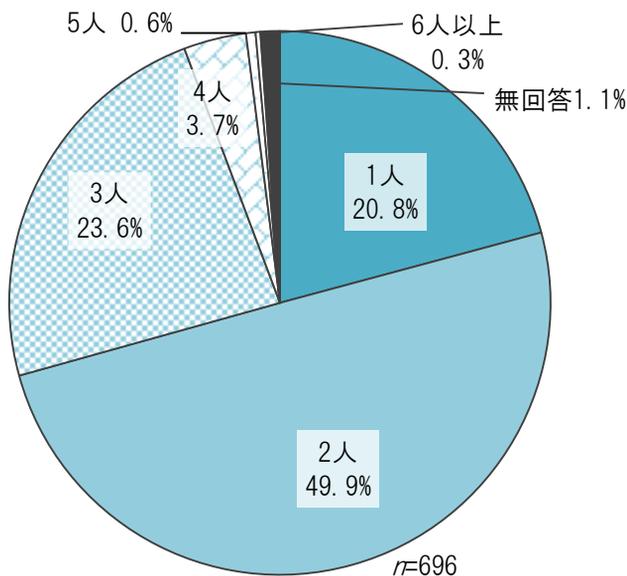
- 宛名の子の年齢は均等に分布しており、各年齢から万遍なく回答を得ることができたと言える。
- 尚、右のグラフは令和4年度末時点の年齢を基準に集計している。



問2

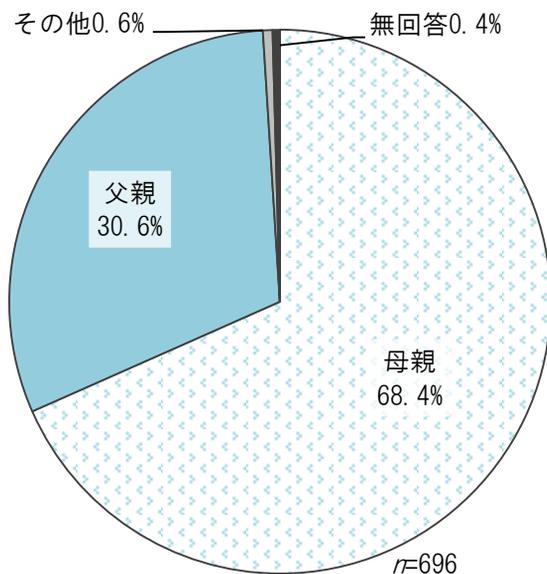
宛名の子を含めたきょうだいの人数

- 宛名の子を含むきょうだいの人数について、「2人」が49.9%と最も高く、次いで「3人」が23.6%、「1人」が20.8%となっている。
- きょうだい3人以内の家庭が、全体の94.3%以上を占めている。



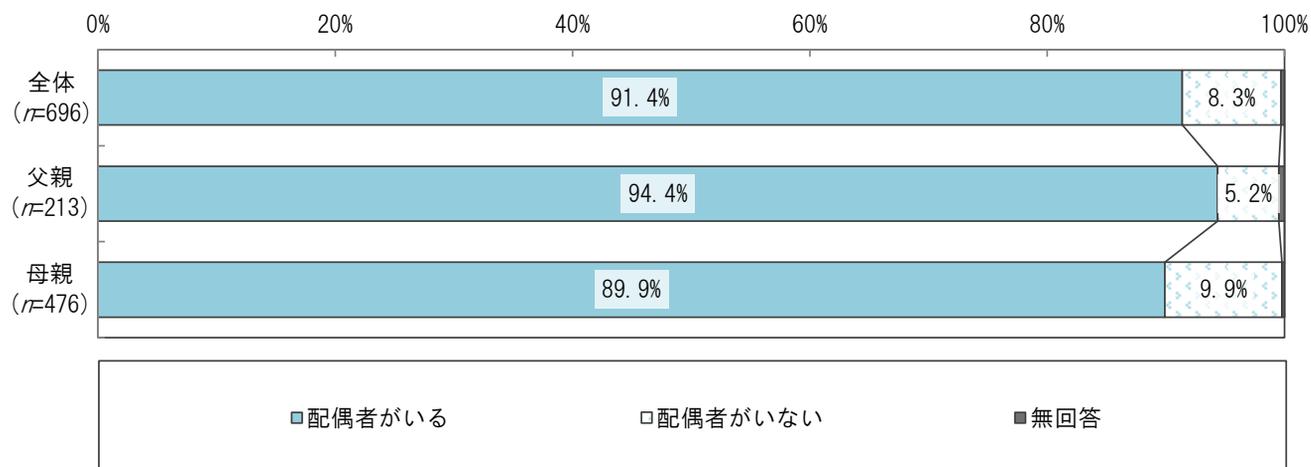
問3 質問票の回答者（宛名の子からみた関係）

- 68.4%は「母親」、30.6%は「父親」による回答となっている。
- 「その他」の回答者は「祖父」「祖母」「両親」である。

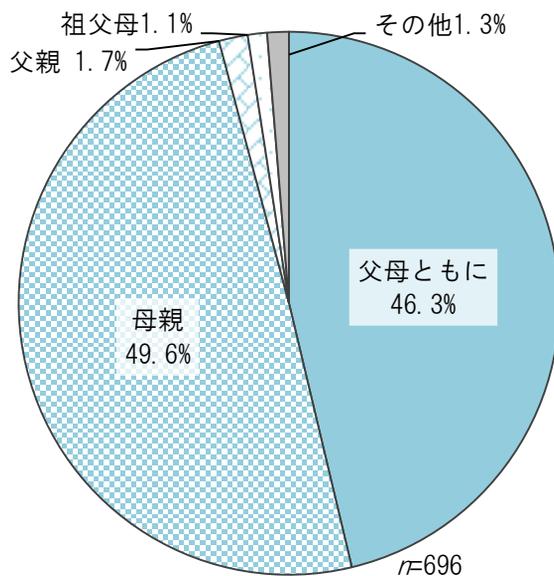


問4 回答者の配偶関係

- 回答者全体では、91.4%が「配偶者がいる」と回答している。
- 父母別に見ると、父親の5.2%、母親の9.9%が「配偶者がいない」と回答している。

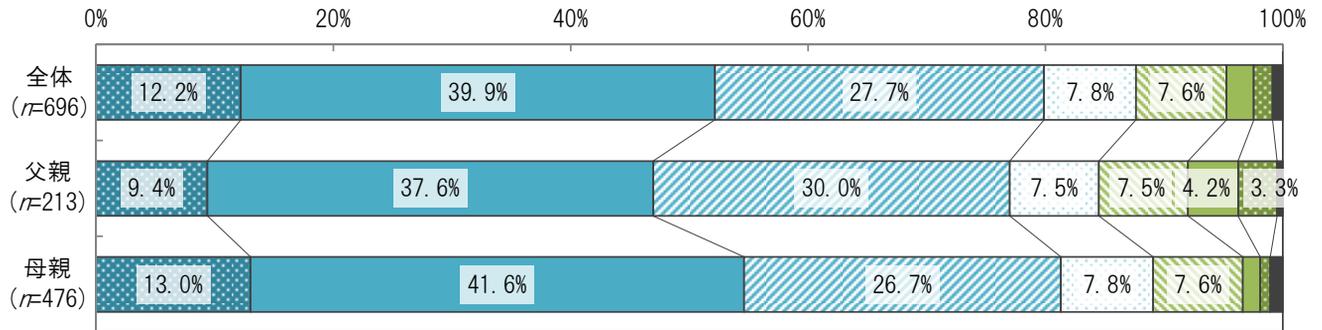


- 日常的に、主に子の面倒を見ている人について、46.3%が「父母ともに」、49.6%が「母親」と回答している。
- 半分近くが「父母ともに」と回答していたものの、「母親」のみという回答も約半数あり、母親の負担が相対的に大きいことがうかがえる。
- 「その他」の主なものとしては、「保育園」「寮生活」などが挙げられている。



問6 普段いる場所（職場や自宅）から保育所・学校までの移動時間

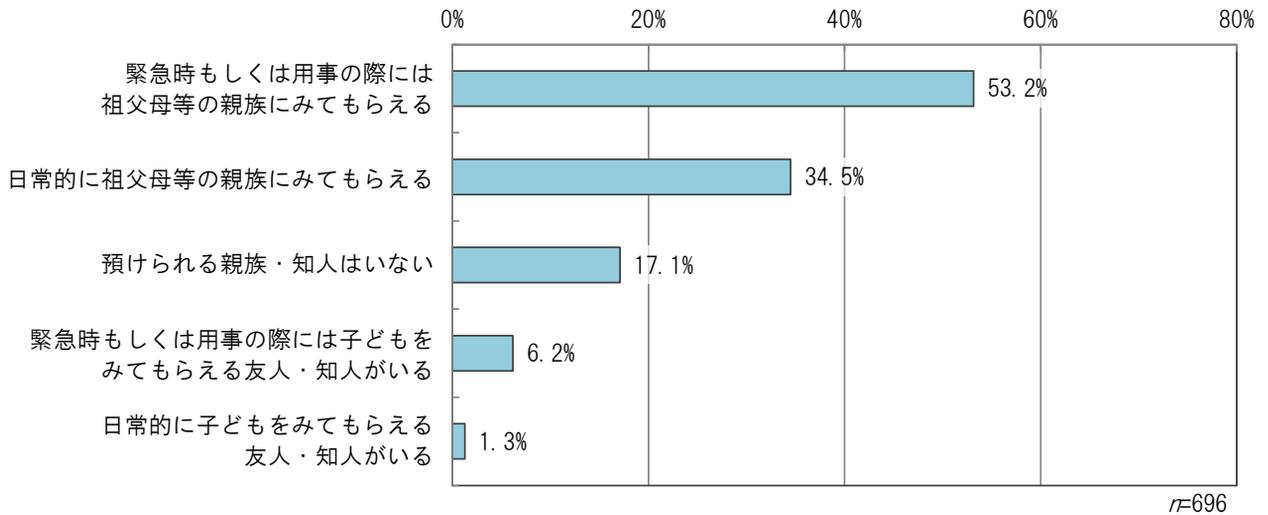
- 普段いる場所から保育所や学校までの移動時間について、回答者全体では、52.1%が「5分以内」ないし「15分以内」と回答している。
- 父母別に見ると、父親は47.0%、母親は54.6%が「5分以内」ないし「15分以内」と回答していた。また移動時間が1時間を超える人の割合は、父親が7.5%であるのに対し、母親は2.3%である。
- 母親と比較して父親の方が、普段いる場所が保育所・学校から離れている傾向にある。例えば子どもの急な発熱時の送迎対応をしなければならない場合など、父親の方が負担がより大きいといえる。



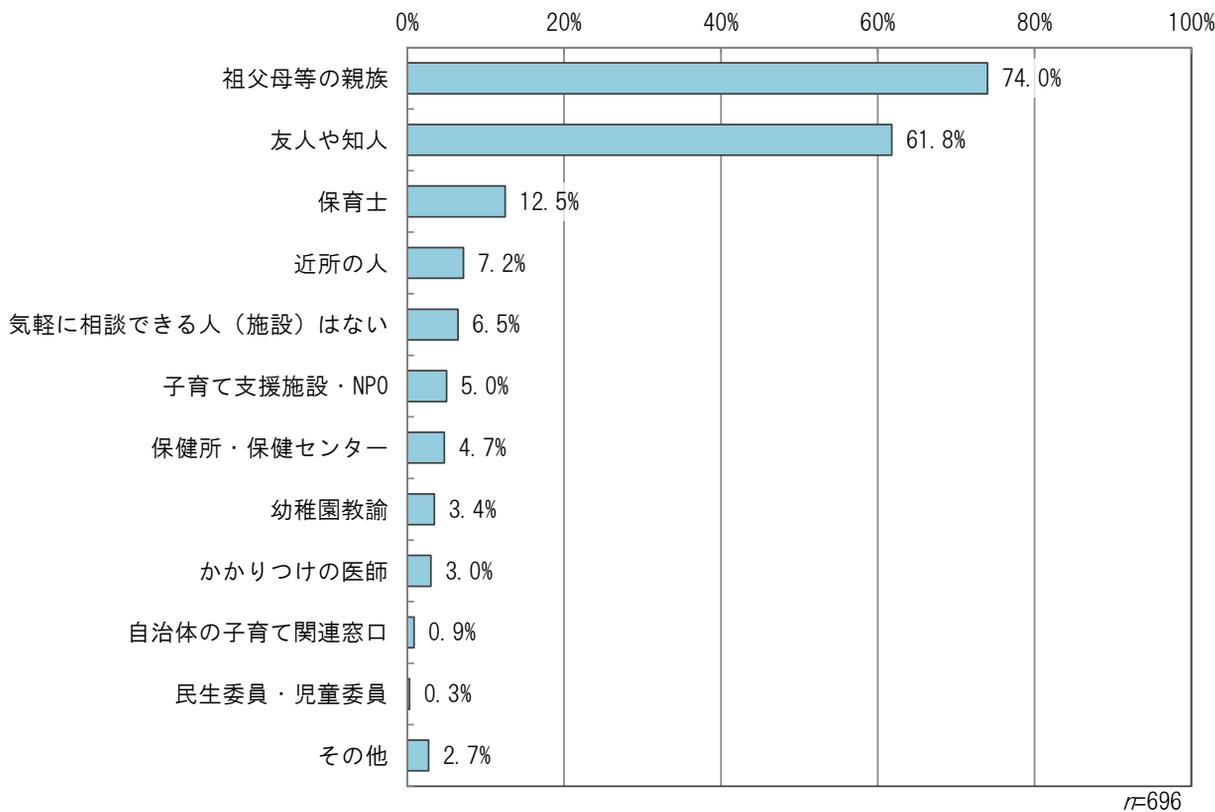
5分以内
 15分以内
 30分以内
 45分以内
 1時間以内
 1時間30分以内
 1.5時間を超える
 無回答

	5分以内	15分以内	30分以内	45分以内	1時間以内	1時間30分以内	1.5時間を超える	無回答
全体	12.2%	39.9%	27.7%	7.8%	7.6%	2.3%	1.6%	0.9%
父親	9.4%	37.6%	30.0%	7.5%	7.5%	4.2%	3.3%	0.5%
母親	13.0%	41.6%	26.7%	7.8%	7.6%	1.5%	0.8%	1.1%

- 半数以上は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答している。
- 移動時間30分以内にいる、子を預けられる親族・知人について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答したのは全体の34.5%である。
- 一方で、友人や知人に子を預けると回答した人の割合は全体の7.5%であった。子を預ける先は、祖父母等の親族等であるケースが多くなっている。
- また、全体の17.1%は「預けられる親族・知人はいない」と回答しており、一定の託児ニーズがあると考えられる。



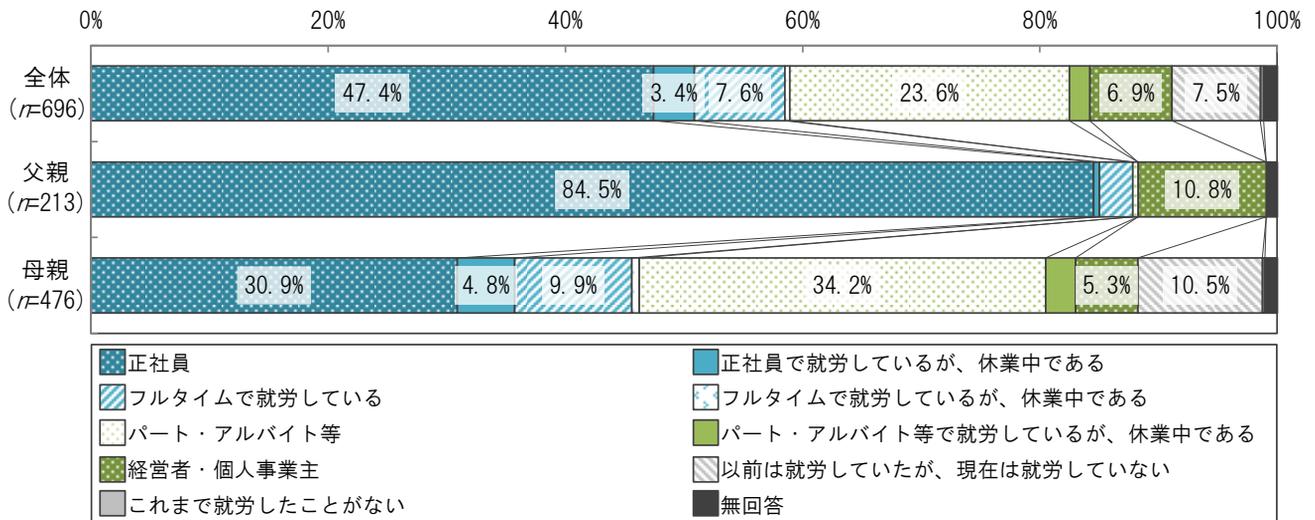
- 子育てや仕事のことを気軽に相談できる人について、「祖父母等の親族」と回答した人が74.0%と最も多く、「友人や知人」（61.8%）、保育士（12.5%）と続いている。
- 上記以外の選択肢については、いずれも10%未満となっている。なかでも「自治体の子育て関連窓口」と回答した人は0.9%に留まっている。
- 須坂市が設置している相談窓口等は利用のハードルが高い、あるいは広く認知されていない可能性も考えられる。



「その他」の主な回答

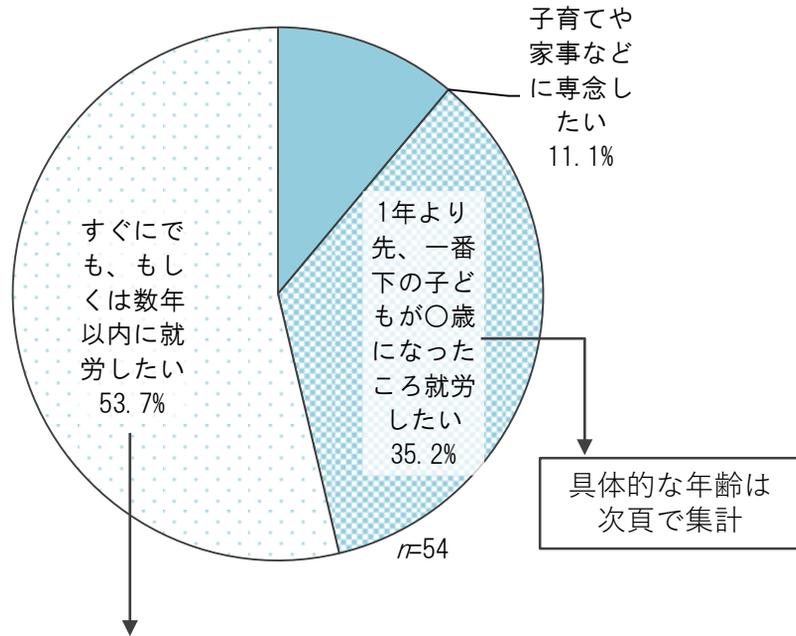
- 職場の同僚
- 担任教諭
- スクールカウンセラー
- 保健師
- 子ども課、社協、かがやきアカデミー、プランナー、療育コーディネーター
- OT（Occupational Therapist：作業療法士）の担当者
- SNS
- これまでに必要性を感じたことがない

- 回答者の現在の就労状況について、「正社員」や「フルタイムで就労している」と回答したのは全体の58.8%である（産休・育休・介護等で休業中の人を含む）。
- 「パート・アルバイト等」と回答したのは全体の25.3%（休業中の人を含む）、「経営者・個人事業主」は6.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は7.5%「これまで就労したことがない」は0.3%である。
- 父母別に見ると、「正社員」や「フルタイムで就労している」と回答した父親は87.8%、母親は46.2%であった。このうち産休・育休・介護等で休業中の父親は0.5%で、母親の5.4%よりも低い割合となっている。
- 「パート・アルバイト等」と回答した父親は0.5%、母親は36.7%であった。このうち母親の2.5%は産休・育休等で休業中である。
- 「以前は就労していたが、現在は就労していない」ないし「これまで就労したことがない」と回答した父親はおらず、母親は10.7%である。

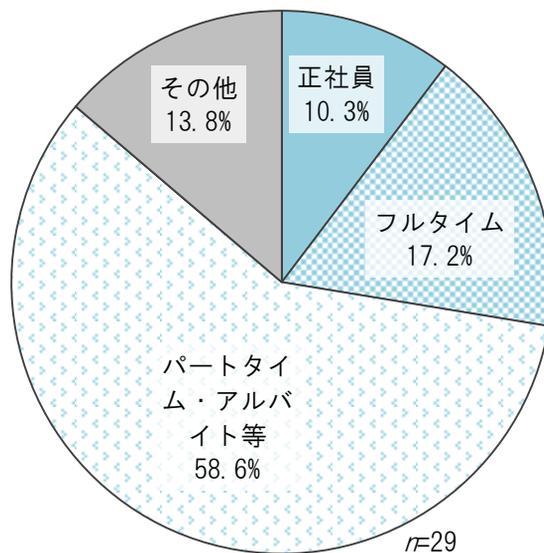


性別	正社員	フルタイムで就労している	パート・アルバイト等	経営者・個人事業主	これまで就労したことがない	正社員で就労しているが、休業中である	フルタイムで就労しているが、休業中である	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	無回答
全体	47.4%	3.4%	7.6%	0.4%	23.6%	1.7%	6.9%	7.5%	0.3%	1.1%
父親	84.5%	0.5%	2.8%	0.0%	0.5%	0.0%	10.8%	0.0%	0.0%	0.9%
母親	30.9%	4.8%	9.9%	0.6%	34.2%	2.5%	5.3%	10.5%	0.2%	1.1%

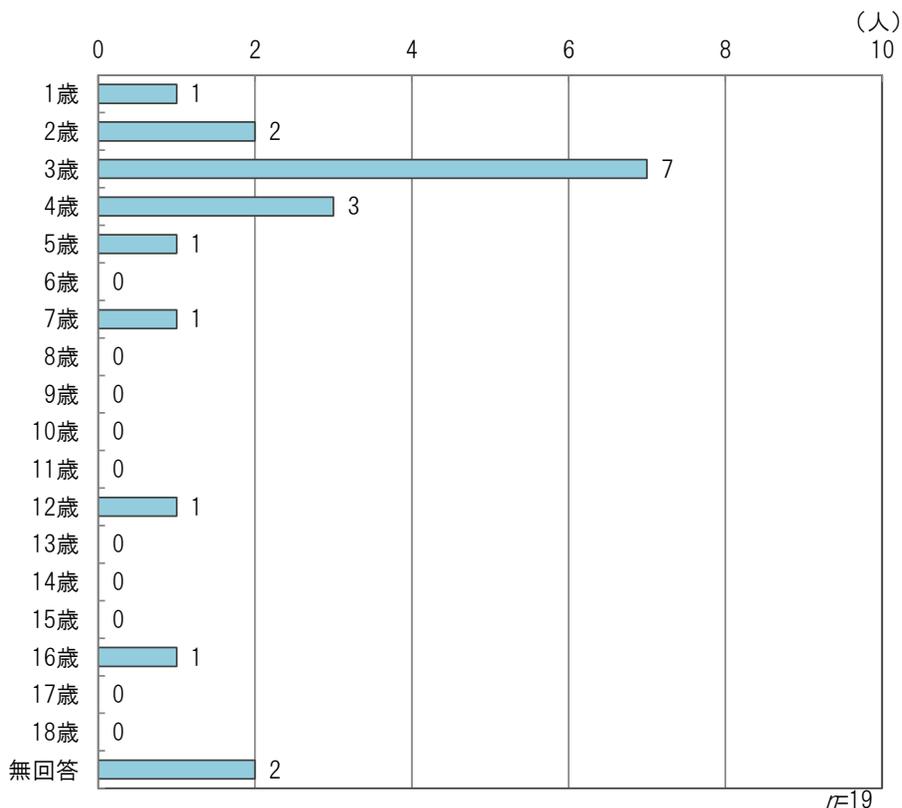
- 問9で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した人に対し、就労の希望について尋ねた。
- 88.9%が「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころ就労したい」ないしすぐにでも、数年以内に就労したい」と回答していた。現在は就労していない人も就労ニーズは高いことがうかがえる。



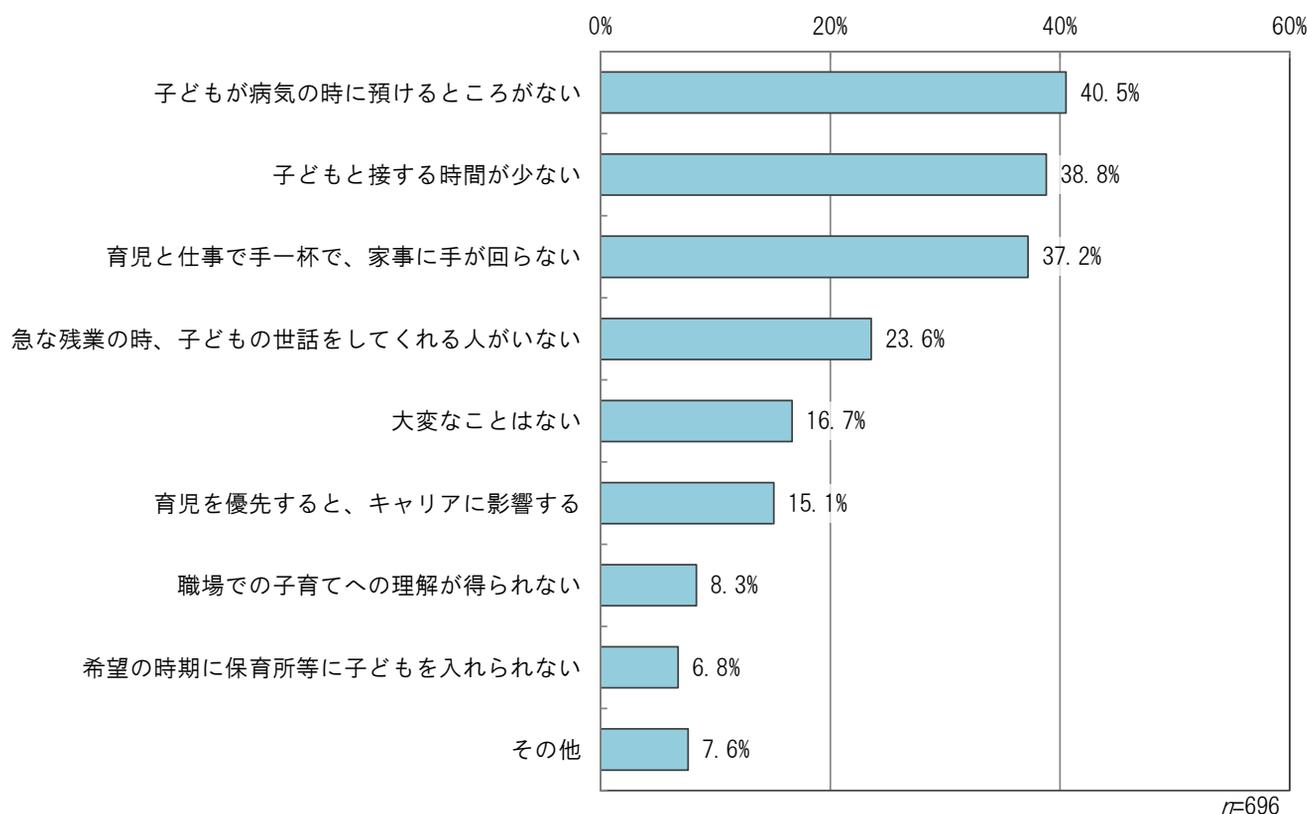
- 「3.すぐにでも、もしくは数年以内に就労したい」と回答した人について、希望する就労形態を尋ねた。
- 全体の58.6%が「パートタイム・アルバイト等」と回答している。
- 「正社員」「フルタイム」と回答した人を合計すると全体の27.5%となっている。
- すぐにでも、もしくは数年以内に就労したい場合、短時間から働ける「パート・アルバイト等」を希望する人が多いものと考えられる。
- 「その他」には「来年度就労する(決まっている)」「スポットの在宅勤務」「正社員またはパート・アルバイト」が挙がっている。



- 「2.子どもが○歳になったころに就労したい」と回答した人について、就労したいと考える末子の年齢を尋ねた。「3歳」という回答が7人と最も多く、次いで「4歳」が3人、「2歳」が2人であった。末子が未就学児の時点で就労を希望する人が多い。
- また末子の就学後は、「7歳」「12歳」「16歳」といった卒業・進学タイミングでの就労を希望する傾向がみられる。



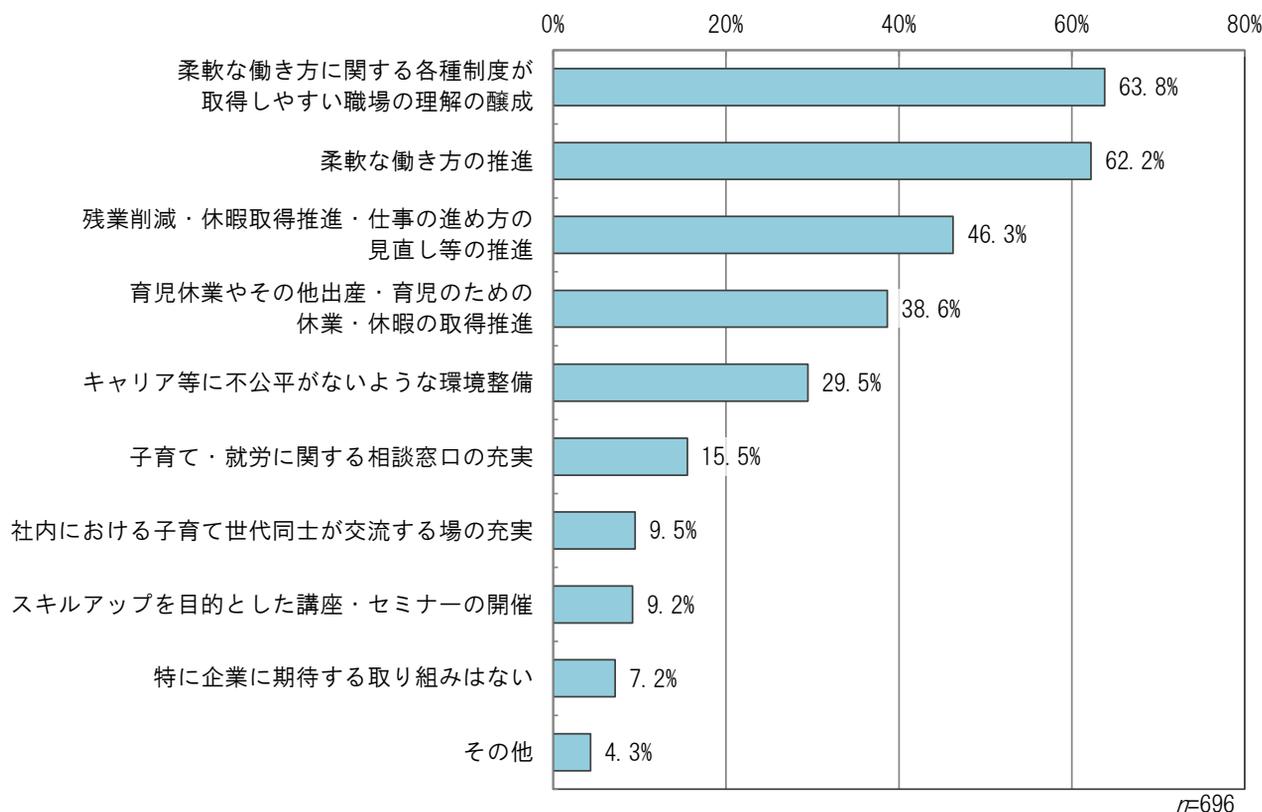
- 「子どもが病気の時に預けるところがない」という回答が40.5%と最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が38.8%、「育児と仕事で手一杯で、家事に手が回らない」が37.2%、「急な残業の時、子どもの世話をしてくれる人がいない」が23.6%となっている。
- 子どもが病気の時、急な残業の時等の託児ニーズが高いことがうかがえる。家事を行う、子どもと接するといった時間を確保する余裕がない人も多い。
- また割合はさほど高くないものの、「育児を優先すると、キャリアに影響する」（15.1%）、「職場での子育てへの理解が得られない」（8.3%）といった回答もみられる。



「その他」の主な回答

- 子どもの体調不良やコロナによる学級閉鎖など、急な休みで職場に迷惑をかけてしまうこと
- いざという時に子どもを預ける先がないこと
- 一時保育が利用できないなど、保育園の利用にかかわること
- 有給休暇や時短勤務等が取得しづらいことへの不安
- 自身の体調面や体力面など、仕事を始めるにあたっての不安
- 自身が休んだ時や、もし仕事ができなくなった時の収入面の不安
- 習い事の送迎
- 夫の理解がない
- 小学校に上がった後、帰宅時間が早まり子どもだけで家にいる時間が増加すること
- 一人の時間が欲しい時がある

- 半数以上が「柔軟な働き方に関する各種制度が取得しやすい職場の理解の醸成」(63.8%)、「柔軟な働き方の推進」(62.2%)を挙げていた。子育てを理由に柔軟な働き方を希望していても、職場の理解が得られない、あるいは環境が整っていないといった実情がうかがえる。
- 次いで、「残業削減・休暇取得推進・仕事の進め方の見直し等の推進」(46.3%)、「育児休業やその他出産・育児のための休業・休暇の取得推進」(38.6%)という回答も多くなっている。柔軟な働き方を推進するための具体的な取組として、残業削減や休業・休暇取得推進といったニーズが高いと考えられる。

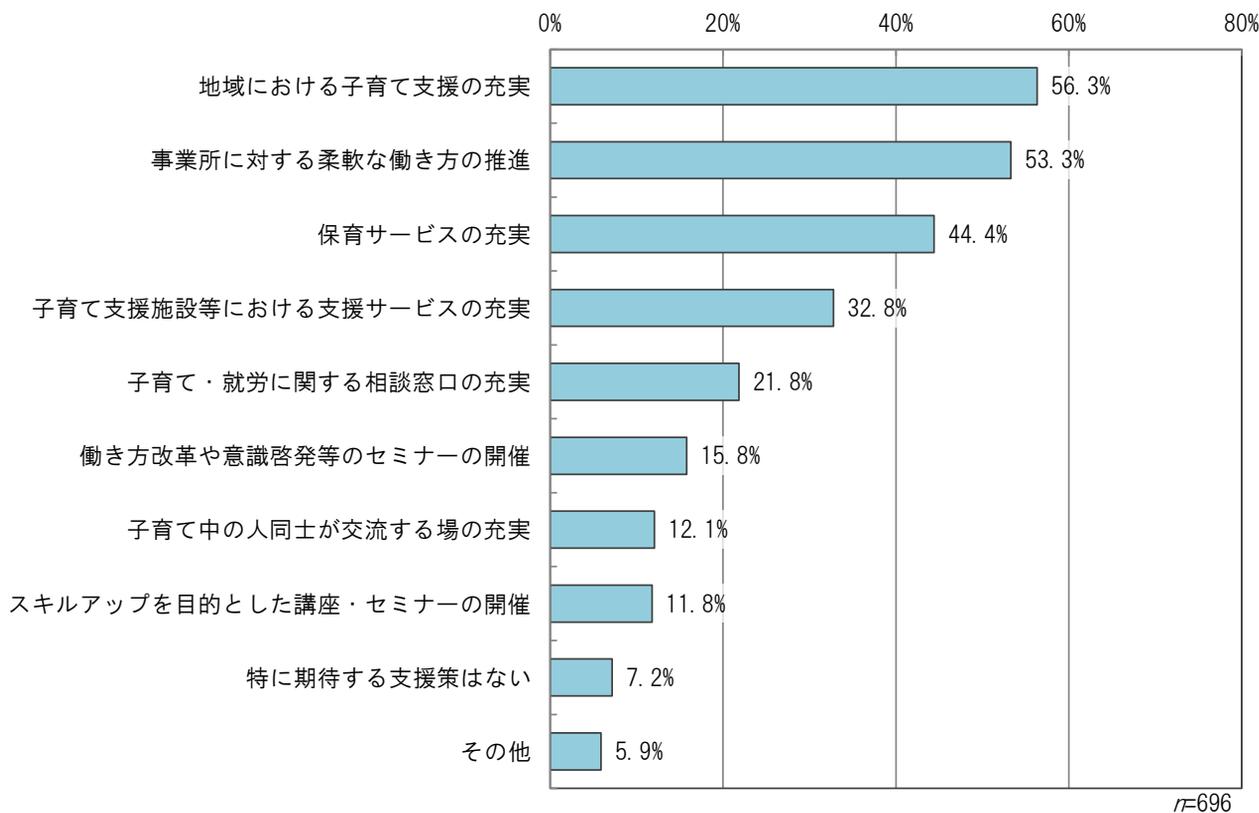


「その他」の主な回答

- 男性が仕事を優先せざるを得ない風潮を変える取り組み
- 父親の育児参加への理解（残業削減や休暇取得促進、勤務地の配慮等）
- 子どもの体調不良等を理由に欠員が出ても、複数人でカバーできる体制づくり（人員の確保等）
- 残業させてほしい
- 子どもの病欠への柔軟な対応
- 職場への託児所の設置や子連れ出勤の検討
- 育児休業や看護休暇を取得した際の収入の補償
- 事情で辞めても再就職が難しくないようにしてほしい。一度辞めた人にはチャンスがない。

問13 子育てと就労の両立していくため、行政に期待する取り組み 複数回答

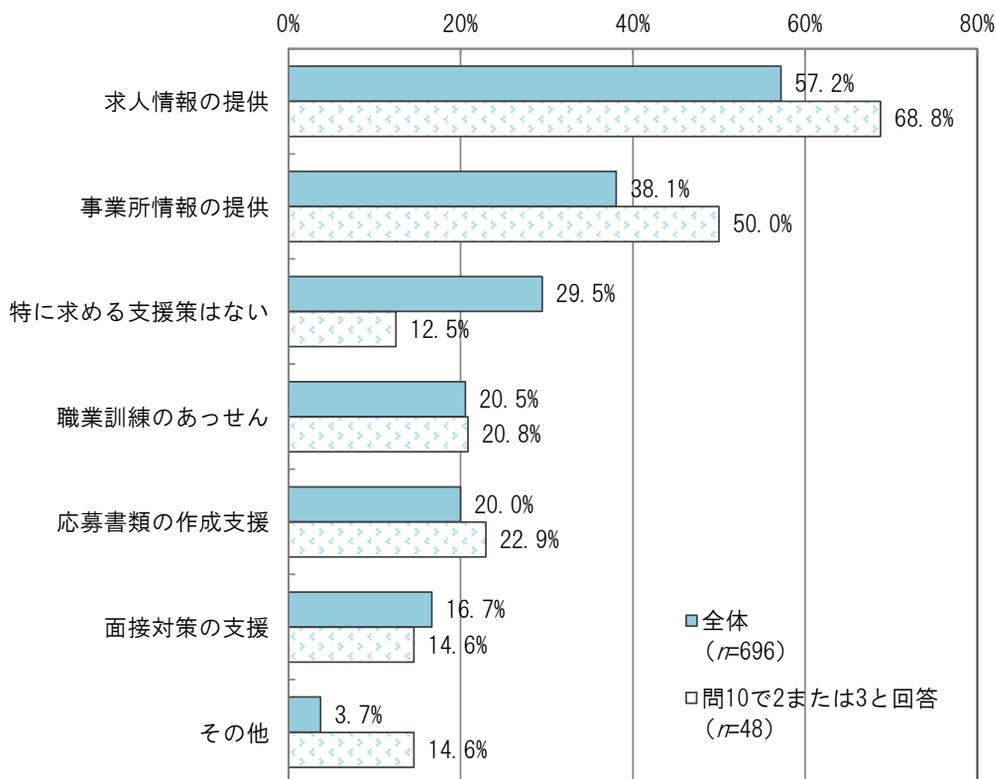
- 「地域における子育て支援の充実」が56.3%と最も高く、子育て全般への支援ニーズは高い。
- 次いで「事業所に対する柔軟な働き方の推進」が53.3%となっていた。問12の回答にもみられるように、育児休業の取得しやすい職場環境や、残業削減へのニーズが高いものと推察される。
- また、「働き方改革や意識啓発等のセミナーの開催」が15.8%、「スキルアップを目的とした講座・セミナーの開催」が11.8%となっており、講座・セミナー開催のニーズも一定数あることがわかる。



「その他」の主な回答

- 子育て中のママの再就職へ向けたセミナーの開催
- 保育園を利用しやすくしてほしい
- ホームページ等における子育てに関連する情報提供の充実
- 子どもが遊べる場の整備
- 経済的支援の充実（クーポン券配布や児童手当等の所得制限の撤廃、医療費・学費無償化など）
- 小児科の充実
- 男女ともに子育てと仕事が両立できるようにしてほしい（働く時間や賃金の見直し、男性の育休取得推進など）
- 子ども達に夫婦は家事も育児も仕事も性別に関係なく、協力、分担して生活していくということを考える場を増やしてほしい
- 行政サービスの電子化推進、簡素化

- 「求人情報の提供」(57.2%)、次いで「事業所情報の提供」(38.1%)のニーズが高い。
- 問10で2または3と回答した人(現在は就労していないが、今後は就労を希望している人)ではこの傾向が高くなっている。

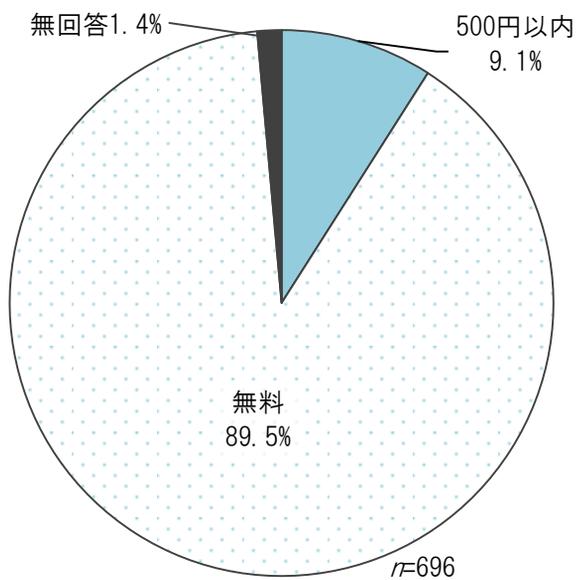


「その他」の主な回答

- 子育てに理解のある事業所や子育てしながらでも働きやすい事業所の情報を提供してほしい
- 子育て世代の就労支援強化(マザーズコーナーを増やす、託児所設置、子育て世代の採用枠など)
- 障がい児を持つシングルマザーの働き口の確保
- 子育て世代の人が通い易い時間で受けられる講座を開講してほしい
- 失業給付などについて説明やアドバイス
- 就労支援だけでなく社会との関わりを持つことから支援が必要な人がいるので、ハローワークだけでなく行政の横の繋がりで支援してほしい

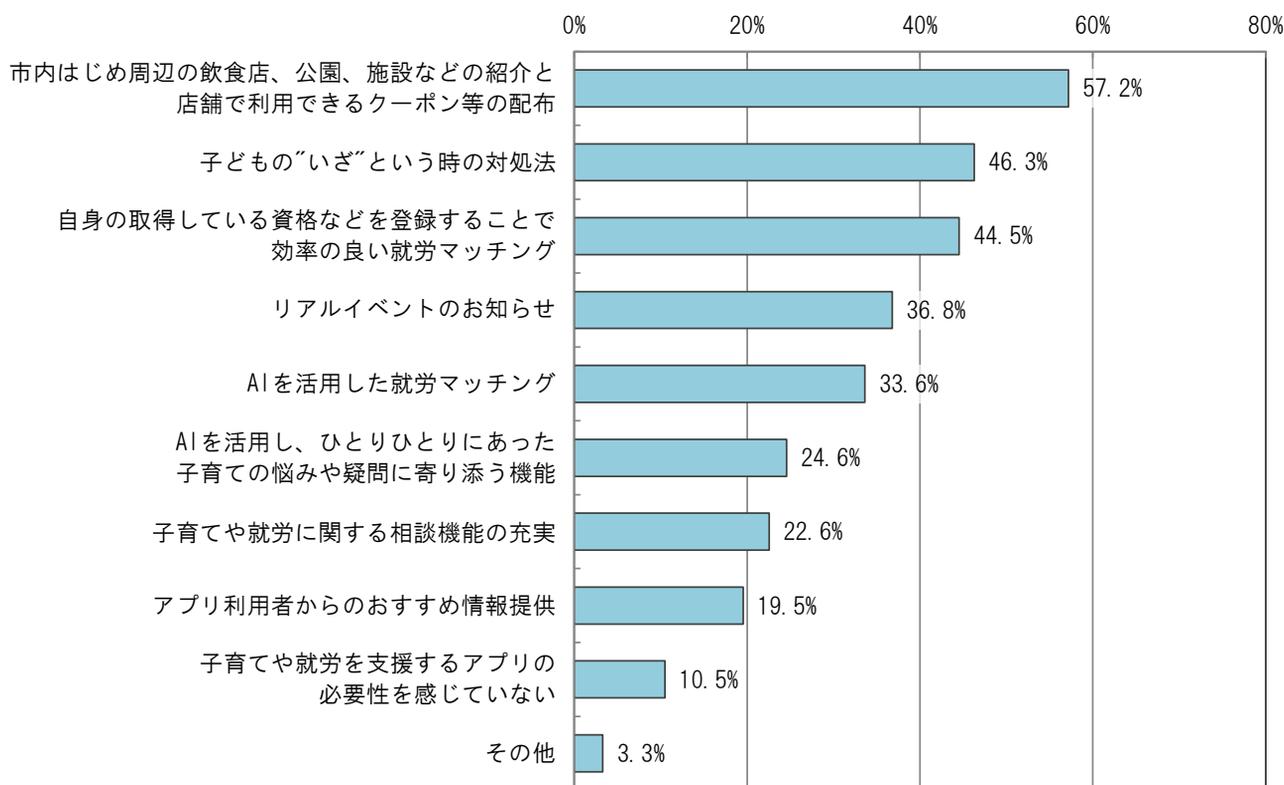
問15 (1) 子育てや就労を支援するアプリを利用する場合、許容できる月額利用料

• 89.5%が月額利用料は「無料」でないと許容できないと回答している。



問15 (2) 子育てや就労を支援するアプリを利用する場合、重視したい機能

- 「市内はじめ周辺の飲食店、公園、施設などの紹介と店舗で利用できるクーポン等の配布」が57.2%と最も割合が高くなっているが、無料で実装する機能としては難易度が高い。
- 次いで「子どもの“いざ”という時の対処法」(46.3%)、「自身の取得している資格などを登録することで効率の良い就労マッチング」(44.5%)、「リアルイベントのお知らせ」(36.8%)が多くなっている。



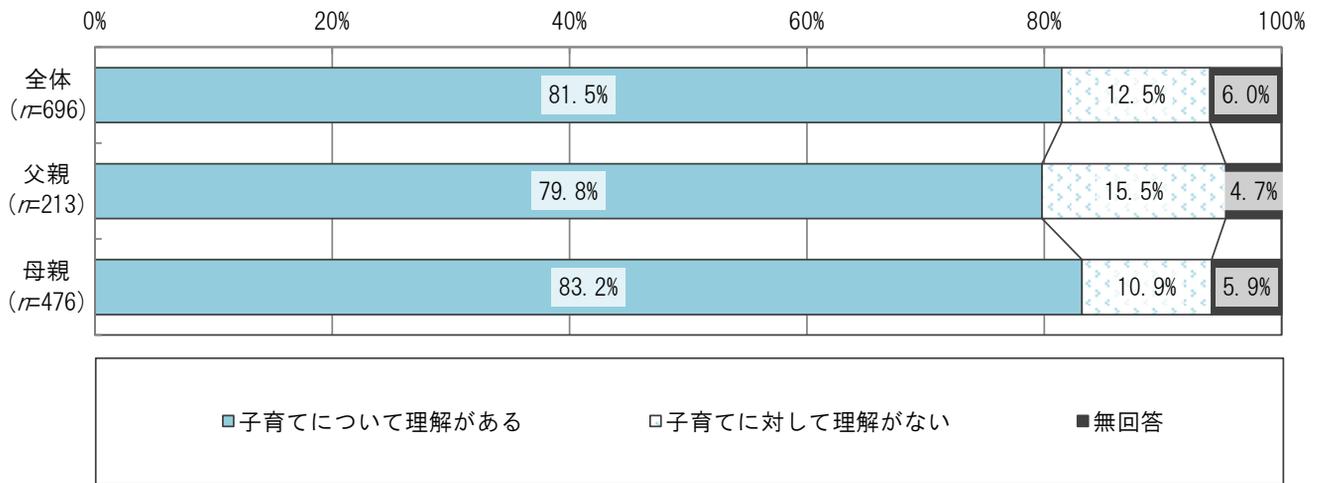
r=696

「その他」の主な回答

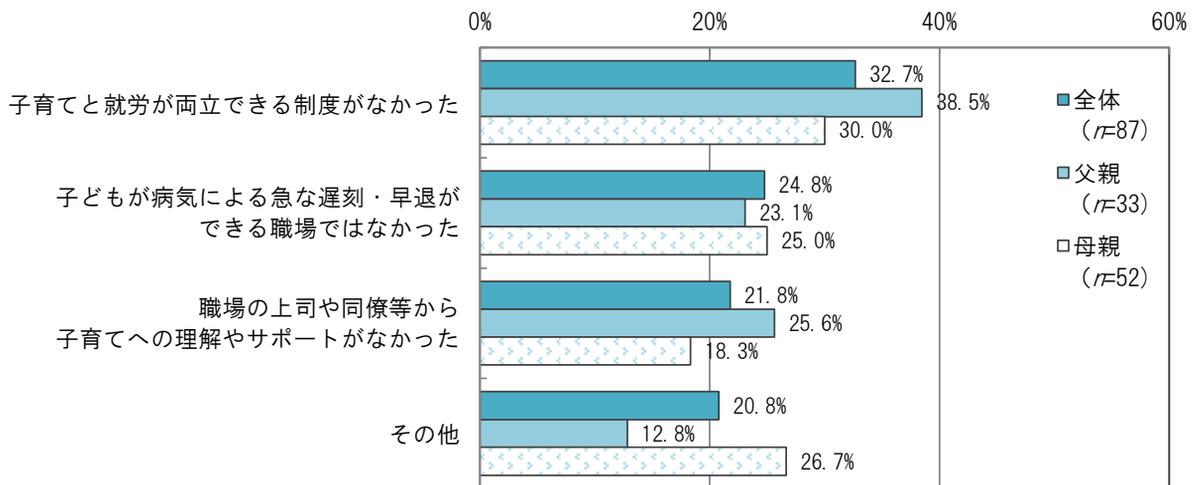
- 家事代行やベビーシッターを必要としている人と、提供できる人のマッチング機能
- 託児に関する情報の提供（託児所や病児保育の空き状況確認・予約機能など）
- 子どもの健康管理に関わる情報の提供（予防接種の時期、休日の当番医の情報など）
- 求人情報や資格・免許取得に関する情報
- オムツ替えシートのあるトイレの位置情報が分かると便利
- アプリ以外にお金をかけてほしい（子育て支援や公園等の整備など）

問16 職場の子育てに対する理解

- 全体では81.5%が「子育てについて理解がある」と回答しているが、「子育てに対して理解がない」という回答も一定数ある。
- 「子育てに対して理解がない」と感じている人の割合は、母親に比べ父親の方が多くなっている。



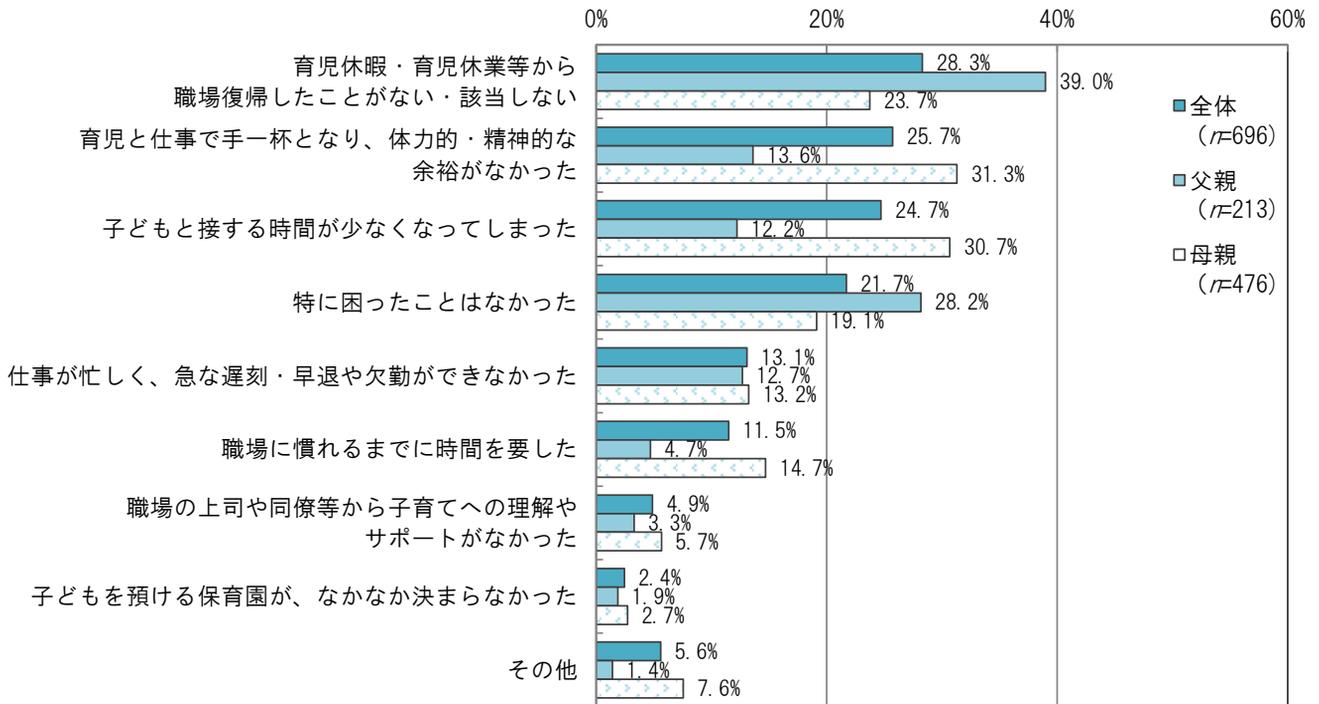
- 「子育てに対して理解がない」と感じる理由について、「子育てと就労が両立できる制度がなかった」という回答が32.7%と最も高くなっていた。この傾向は、母親に比べ父親において高くなっている。
- 「その他」については、母親からより多くの回答が挙がっている。



「その他」の主な回答

- 育休・時短勤務など制度はあるが取得しづらい雰囲気がある
- 子どもが病気等の理由で休むと嫌味を言われたり、「迷惑だからやめろ」と言われる
- そもそも有給休暇を取得させてもらえない
- 職場の規模的に、他の人の負担を考えると休みを取得しづらい
- 上司が子育てをしていないこともあり、理解がないのだと思う

- 全体では、「育児休暇・育児休業から職場復帰したことがない・該当しない」が28.3%と最も高くなっている。この傾向は父親において顕著である。
- 全体では、次いで「育児と仕事で手一杯となり、体力的・精神的な余裕がなかった」が25.7%、「子どもと接する時間が少なくなってしまった」が24.7%となっていた。特に母親の回答割合が高くなっている。
- 父親の回答では「特に困ったことはなかった」という回答の割合が2番目に高くなっていた。職場復帰後の育児負担は母親に偏っていることがうかがえる。

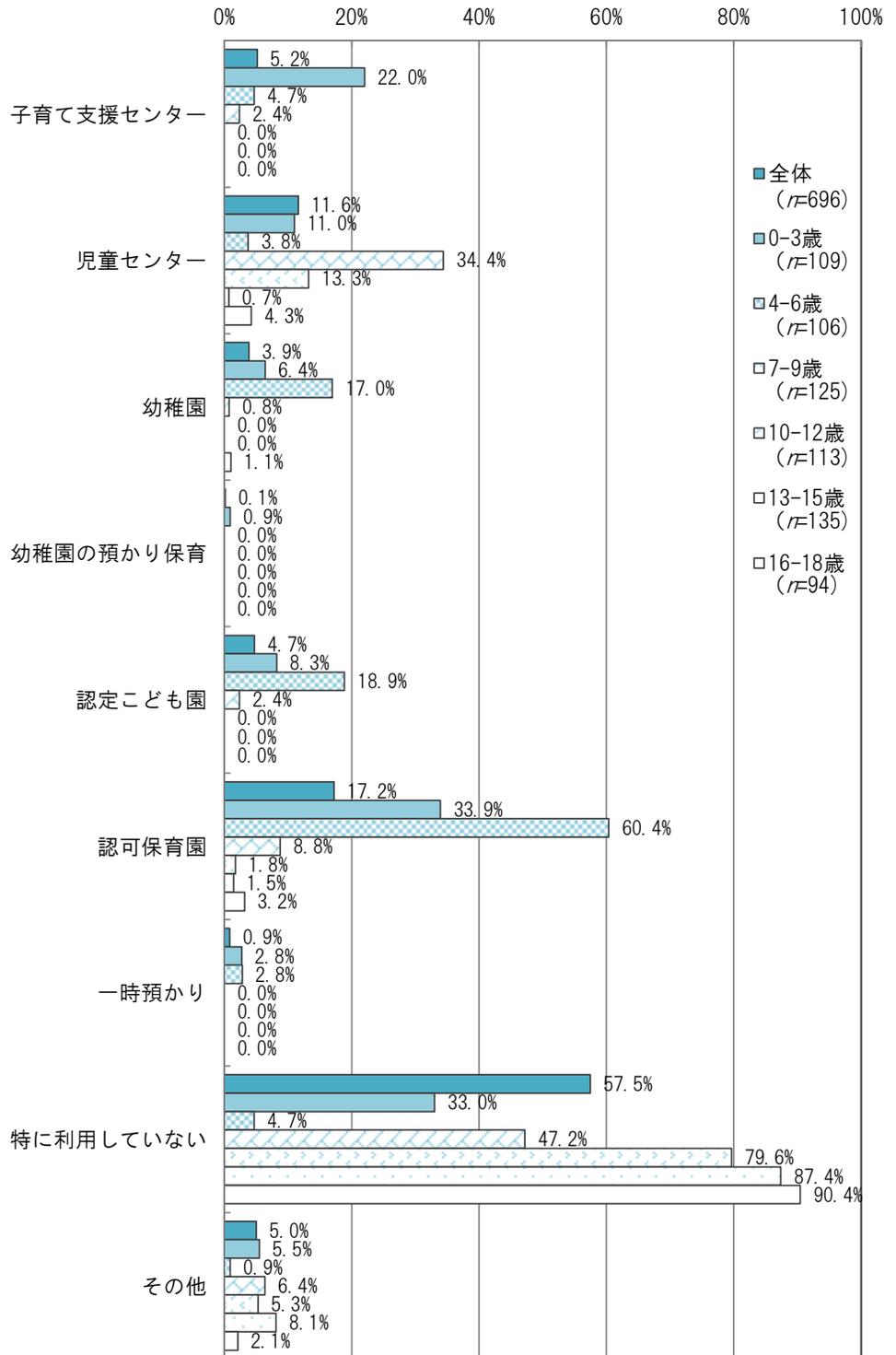


「その他」の主な回答

- 妊娠時に退職を勧められたり、迷惑がられたりした
- 育児休業の制度はないと言われた
- 育児休業を取得しづらい雰囲気であった
- 子どもの体調不良等の際に預ける先がない
- 子どもの体調不良等の際に休みを申し出づらい（職場が休みづらい雰囲気、嫌味を言われるなど）
- 家事や学校行事などについて、家族の協力が得られない
- 自営業のため児童館に預けることができず困っている
- 復帰直後の異動やキャリアダウン
- 職場の仕事面での配慮がない（時短になっても仕事量が変わらない、残業が半強制など）

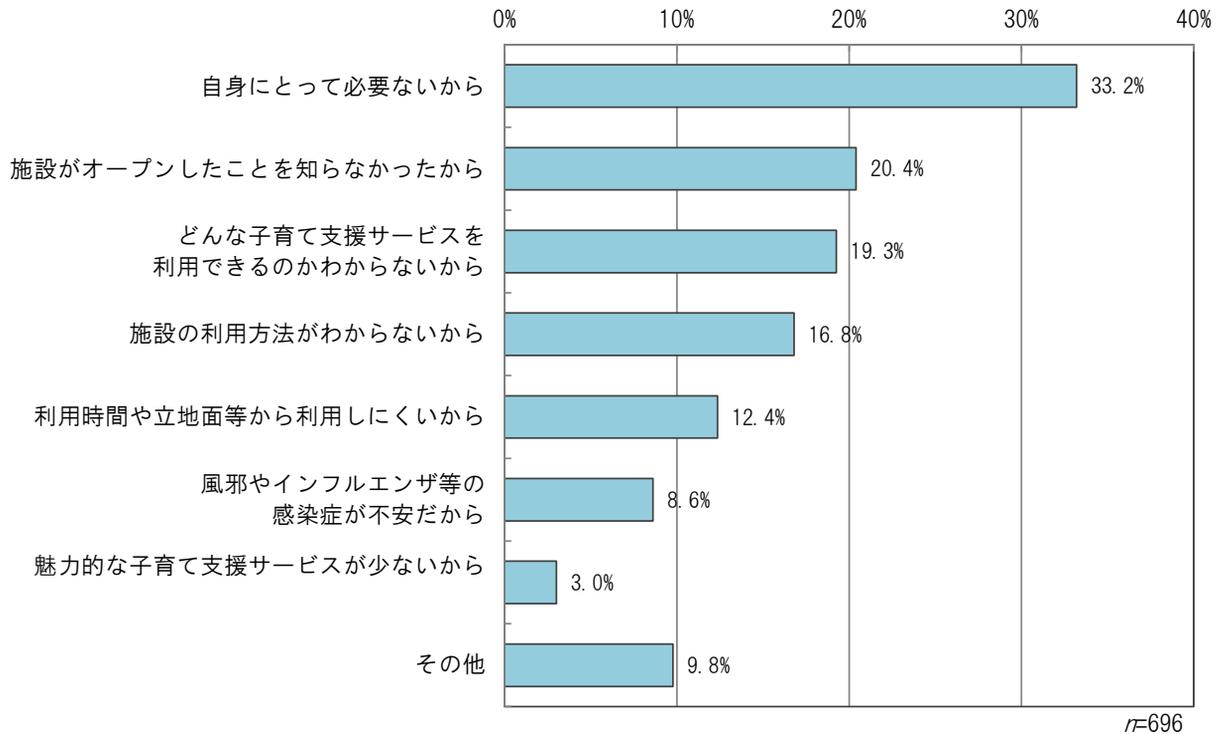
問18 宛名の子が日頃利用している教育・保育の施設

- 0歳から3歳までの子を持つ親のうち、「子育て支援センター」を利用している人は22.0%に留まっている。
- 問13において、行政に期待する取り組みとして「子育て支援施設等の支援サービスの充実」と回答した人は32.8%おり、利用したいサービスがない、あるいは利用できるサービスが認知されていないといった可能性が考えられる。
- 「その他」の主な内容は「ファミサポ」「地域公民館」「放課後デイサービス」「親子教室」「事業所内託児所」「スイミングスクール」などである。



問19 botaを利用したことがない理由

- 「自身にとって必要ないから」とが33.2%と最も多く、次いで「施設がオープンしたことを知らなかったから」が20.4%、「どんな子育て支援サービスを利用できるのかわからないから」が19.3%となっている。
- 問13の結果では子育て全般への支援ニーズが高くなっている。利用者を増やすために、利用者にとって必要なサービスを提供すること、利用可能なサービスについて広く周知することが重要であると考えられる。



「その他」の主な回答

- 行ってみたいが機会がない（なかった）
- 利用する時間がない、忙しい
- 利用料が高い・利用料がかかる
- 距離的に行くことが難しい
- 子が利用する年齢でない・利用して良い年齢かわからない
- 子どもが保育園等に通っているため
- 小学生が友達同士で遊びに行けるような魅力がない
- 予約制で気軽に行きづらい・買い物ついでにふらっと寄れない
- ホームページが分かりづらい
- 車でのアクセスのしづらさ
- 授乳、お昼寝などタイミングを計るのが大変そう
- 子どもに障がいがあり寝たきり状態だが、トイレに大人用のおむつ替えシートがなく利用できない
- （親が）人見知りのため、なかなか行く勇気が出ない

■ 子育て関係（子育て支援内容）の主な回答

個別相談窓口の提供

- 電話相談
- 平日は仕事があり相談に行けないので、土曜日に窓口が開いているとありがたい
- 例えば1時間前までにアプリで予約したら個別相談できるなど、敷居が低いと嬉しい
- 発達相談が気軽にできる専門職を配置してほしい（管理栄養士、保育士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士など）

親同士が交流する場の提供

- 0歳児ママの会はよかった。知り合いができて心強かった
- そこで知り合った親同士が交流を深められるようにサポートしてほしい
- 障がい児の親同士が知り合える場所が欲しい

託児サービス

- 買い物や、急な用事に行く間の一時預かりサービス
- 病児の看護
- 夜間や土日の託児
- 自由に遊んでいる時に保育士さんが子どもと関わって下さると関わり方の勉強にもなり、子どもも母以外の人と関われる良い機会となるので嬉しい

イベントの開催

- 夫婦で参加できるようなイベント
- フリーマーケットやバザー。
- 親子向け、子ども向けのワークショップなど

相談したい内容・講座で学びたい内容

- 不登校や思春期の子の対応
- 発達障がいについての理解
- スマホやタブレット依存症、子どもとメディアの関わり方について
- ひきこもり、ネット依存など医療につなげることのできるカウンセリング
- 子どもとLGBT-Qについて
- 上手いしかり方
- 食生活のアドバイス
- 仕事やお金を稼ぐ事に興味を沸かせる内容

その他

- 子どもの身体測定サービス
- 予防接種の接種時期や発達相談など、保育センターで相談したい内容も気軽に相談できると良い
- 電車の待ち時間や迎えの車を待っている高校生が、無料で勉強や読書ができるスペース
- 家事代行や育児相談を提供できる方の派遣や紹介
- 学校に行けない子ども達や不登校の子どもたちの拠り所のような場所にもなってほしい
- 送迎サービス

■ 子育て関係（交流セミナーや親子体験イベントのテーマ、呼んでほしい講師など）の主な回答

セミナーのテーマ

- ・離乳食講座
- ・救命セミナーや応急処置、イヤイヤ期への対応など
- ・食育（健康管理士、先輩ママ、仕事と育児を実践しているママなどの講師）
- ・簡単にできる料理やおやつを紹介
- ・親向けの子育てセミナー（思春期、反抗期、ゲーム、受験等）
- ・発達障がいがテーマの講演会
- ・CAPながのの講座
- ・家事代行サービスの人に来てもらい、子育て世代向けにどんなサービスがあるか教えてほしい
- ・ひとり親世帯の交流や生活への役立ち情報
- ・産育休に入る準備、職場復帰の準備に関するセミナー
- ・高齢者からの知恵や手仕事を伝承して楽しめるようなセミナー
- ・各業界のプロフェッショナル、トップアスリートの方の講演
- ・須坂市の農業、流通のしくみ
- ・ふるさと納税について学習会

イベントのテーマ

- ・親子で料理教室
- ・ワークショップやファミリーフェスティバルのような利用料金があまりかからないイベント
- ・クリスマスコンサート、ハロウィンなど季節の行事
- ・クリスマス会でバルーンアートの方が来てくださり、とても楽しめました
- ・親子エクササイズなど体を動かすもの、乳幼児のリズム体操
- ・親子でヨガorエアロビクス、リンパの流れを良くするマッサージ
- ・ベビーマッサージ（子どもと触れ合いながら楽しく活動できるもの）
- ・英会話、ダンス、リトミック
- ・折り紙、工作、絵、習字（書初め）歌、楽器
- ・アナウンサーによる絵本の読み聞かせ、長野県出身の有名人による講話など
- ・ものづくりや職業体験
- ・アウトドア体験
- ・障がいのある子どもの家族との交流
- ・高校生や大学生との交流
- ・小学生や中学生向けのグループワークなど、ボードゲーム大会、将棋大会
- ・親同士の交流、子育ての仲間を作れるようなイベント
- ・子ども服や雑貨の販売イベント
- ・着なくなった衣類や使わなくなった玩具の寄付

呼んでほしい講師

- ・コーチングアカデミー長野校の講師
- ・抱っこの仕方に詳しい助産師（丸まるように抱っこする方法）
- ・CAPながの（子どもの人権）
- ・投資の専門家
- ・カウンセラー
- ・芸能人のママタレントや子育てに関する知識が豊富な著名人をゲストとして呼んで欲しい

■ 就労支援関係（就労支援サービス）の主な回答

就労支援窓口の提供

- リモート市役所や保険センター、専門家と相談できる環境
- ハローワークの移動窓口
- 基本的にはハローワークがあるからよいが、小さな子どもを見てもらいながらハローワークと同じように求職活動ができればと思う
- パートの募集など、特に子育て中の母親でも応募しやすいものを紹介してほしい
- 簡単なアンケートで自分に合っている職業を知ることのできるサービス
- 保育園などと情報を共有しながら職探しができるといい
- 幅広い職業や業種の就労情報が欲しい（40代から50代のミドル世代が転職できるような就業先の情報など）
- Instagramなどに求人情報をアップしてほしい
- 時短勤務可能な企業、子育てママに優しい企業が集まる合同説明会
- 会社説明会や就職面接の会場提供
- 独立したい人の手助け
- 小さなことでも気になっていること不安なことを相談できるようなもの

講座で学びたい内容

- パート勤務ですが、社会保険や年金などについて詳しく知りたい（130万の壁など）
- 出産、産育休にもらえるお金や税金のこと
- 子育てと両立した働き方の紹介や、子育てをしながら働いている人の体験談

その他

- 総菜コーナー（駅前だし美味しいものがあれば買って楽しみたい）
- コワーキングスペースで作業している間、子育て支援センターで子どもを見て欲しい

■ 就労支援関係（スキルアップや就労支援セミナーのテーマ、呼んでほしい講師など）の主な回答

セミナーのテーマ

- 「こんな仕事はどうだろう」「働くって素敵だな」など仕事に興味を持たせる話
- ひとり親向けの働き方など
- 支援センターを利用している方の話、市内在住の仕事復帰した方の話
- 今社会に求められる人材、必要な資格
- 資格を取れる講座（簿記、子育てに関する資格、国家資格）
- IT関係のスキルアップ講座（Word、Excelなど）
- 在宅ワーク講座（プログラミングやライティングなどのスキル、在宅でできる副業）
- 在宅ワーカーと企業をつなぐ取組み
- マナー講座
- 面接対策講座
- 起業の仕方
- アドラー心理学
- 世の中の情勢やお金の流れ

呼んでほしい講師

- 須高の企業に勤めている子育て経験のある方
- 金融機関の方

その他

- 講座中は託児などがあると受けやすい

■ 具体的な講座など（受講したい講座テーマ）についての主な回答

就労のためのスキル・資格取得等

- 上司部下に対する対応の仕方、コミュニケーション、所作振舞い
- 子育てしながら働く際の心構えなどワークライフバランスに関すること
- 扶養内で働くべきか否か（103万円の壁など）
- 業種を絞ったテーマ（事務一般、経理・労務、建設業、農業）
- 創業（就農、子育てをしながら開業した方の話）
- 40代から50代のミドル世代の子育てをしながらの就業
- 資格取得など（簿記、介護士、保育士、子育て支援コーディネーター）
- カフェ体験講座、こども食堂運営

IT関係のスキル

- 基本的なパソコン操作
- IllustratorやPhotoshopなどの使い方、Webデザイン
- ユーチューバー講座
- ドローン

育児

- 子どもの発達や健康（HSC[High Sensitive Child]、性教育、糖尿病、喘息やてんかんなど子どもに多い病気）
- 育てにくい子への接し方、思春期の接し方、ペアレントトレーニング
- 子育て中のイライラ解消
- 子どもの情報モラル
- 食育

家事・家計

- 時短家事（料理や整理収納など）
- 整理収納アドバイザー1級
- キャラ弁の作り方、成長期の献立メニュー
- 教育資金などマネープランニング、保険・投資、つみたてNISAなど資産運用

趣味・健康

- 料理、製菓、フランス料理
- フラワーアレンジメント、ドライフラワー、プリザーブドフラワー
- 洋裁
- 季節やイベントに応じた装飾などクラフト講座、魅せるディスプレイ
- ヨガ、ピラティス、バランスボール、親子で運動
- おしゃべり会、手話
- 心理学、アンガーマネジメント、マインドフルネスヨガ、瞑想、笑いヨガ、カウンセリングスキル

子ども向け

- 小さな子ができるお手伝いや、父や母のために作る誕生日のレシピ
- 中高生向けの投資・運用講座
- 食、環境

その他

- 40歳以上でも対象になるもの
- 短時間でわかるようなもの

■ 具体的な講座など（取得したい資格・技術など）についての主な回答

IT関係

- ITパスポート
- 在宅ワークできる資格
- プログラミング
- 動画編集
- ライティング
- WEBデザイン
- イラストレーター、フォトショップ
- ドローン
- Office関連（エクセル、ワード、MOP[Microsoft Office Specialist]）

仕事等に役立つ資格・技術

- 簿記検定
- 医療事務
- 社労士
- 気象予報士
- 電気主任技術者
- CAD
- 重機
- フォークリフト免許
- 調理師
- 栄養士
- FP
- 宅建士
- コーチング
- キャリアカウンセラー
- 保育士、保育園等で働ける資格
- ファミサポ提供会員の講習
- 発達を支援できる資格、手話
- 子どもが集まれる場の運営方法
- 心理系（カウンセリングなど）
- 介護系（喀痰吸引の資格など）
- ヨガ、ピラティス、バランスボールインストラクター
- 企業の求めている人材、職種、技能が知りたい

生活に役立つ資格・技術

- 整理収納アドバイザー
- 食育アドバイザー
- 家事、片付け、ボランティア

語学系

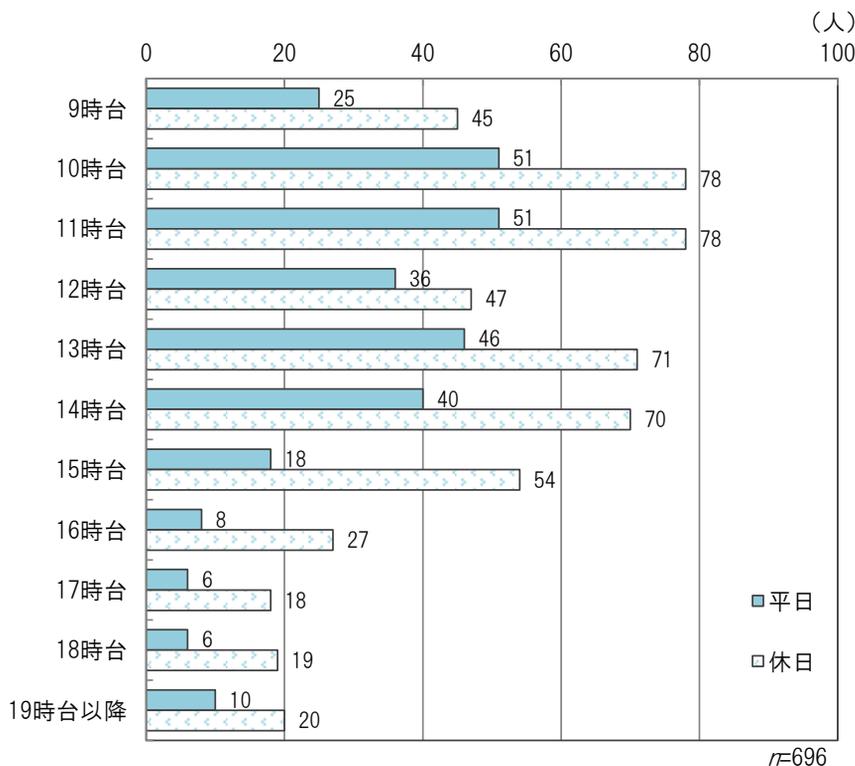
- 英語検定、TOEIC、TOEFL
- 漢字検定

趣味

- ハンドメイド

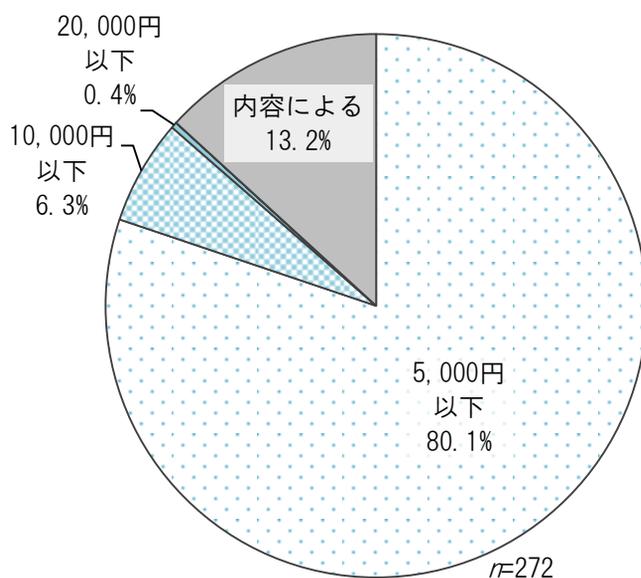
■ 具体的な講座など（受講可能な時間帯・支出可能な参加費）についての主な回答

- 受講可能な時間帯について、平日は午前10時台と11時台、午後は13時台と14時台の割合が高くなっている。
- 休日は午前は10時台と11時台、午後は13時台と14時台に加え、15時台の割合も比較的高くなっている。



■ 具体的な講座など（受講可能な時間帯・支出可能な参加費）についての主な回答

- 支払可能な参加費について約80%が「5,000円以下」と回答しており、「20,000円以上」の回答はない。
- 尚、回答者の半数以上が「無回答」がであったため、この設問では集計対象としていない。



■ 施設の設定面についての主な回答

子育て支援センター

- アプリや電子機能の予約があると使い易く、運営側の負担も減ると思う。
- 小学生と幼児の託児スペースを分け、きょうだいも居ても利用出来るようにして欲しい。
- 前の支援センターは電池切れおもちゃがあったので切らさないで欲しい。または電池不要おもちゃに変えて欲しい。
- 託児施設（子どもが病気時の保育施設など）。

遊具や本など

- 体を動かせる遊具（アスレチック、ボールプール、トランポリン、滑り台など）。
- 雨の日も遊べる屋内施設
- 屋外スペース
- おもちゃ（おもまごと、大きな積み木、木を使ったおもちゃ、楽器、小中学生も楽しめるようなボードゲームやカードゲームなど）。
- 市民限定で無料の遊具やおもちゃで使えるスペースがあると嬉しい。
- 書籍（絵本、小説、いろいろな分野の本）。
- 絵本を読む段階の所が靴を履いたまま行けると良いなと感じる。
- 子どもから大人まで利用できる図書館。
- プラネタリウムやイルミネーション
- 自由に落書きできる広いスペース

コワーキングスペース・学習スペース

- 小学生以上の子も使いやすい場所にしてほしい。幼児は支援センターに連れていけるが、小学生の居場所がない。学習室は無料にし、飲食可能スペース（お弁当持参可）もあると良い。
- 中高校生や高齢者が利用し易い施設にしてほしい。学習スペースが安価で利用できれば（1時間100円くらい）、中高生も電車の待ち時間に利用し易いと思います。
- コワーキングスペースは無料にしてほしい。母が本を読めたりして子どもを近くで遊ばせられるようなところにしてほしい。
- 小中高校生が安心して過ごせる場所がほしい。高い授業料を払わなくても、ものづくりや絵画、英語、料理、プログラミングなどを教わることができる場所。相談したり見守ったり話を聞いてくれたりする大人がいると良い。子ども同士、互いに教え合っても良い。
- 安価（1時間500円くらい）で使える会議室があると嬉しい。
- パソコンやタブレットの貸出し。
- 無料Wi-Fi

カフェ

- カフェインが苦手な人もいるので、お茶やデカフェを提供してほしい。
- カフェに子どもでも食べさせられるメニューorお弁当など、毎日でなくてもよいのであれば家事が楽になって嬉しい。
- 飲食は手軽な金額で買いやすい方がいい。
- 喫茶の席を増やしてほしい。
- 無料ドリンクの自販機や、無料喫茶スペース。
- カフェに入ったことがあります。一般的なカフェのように案内もなく、どのように注文するのか、テイクアウトできるのかなど利用の仕方がわかりませんでした。
- おしゃれな空間なのに、テーブルや椅子を置いてあるだけという印象。
- 子ども用の椅子があると嬉しい。

■ 施設の設備面についての主な回答（続き）

チャレンジショップ

- お昼に日替わりでお弁当やお菓子を売っているように、平日の夕方（16時～18時頃）もお弁当や夕飯のおかずになるお惣菜が買えると助かる。
- 道の駅のように、新鮮な地元の食材がいつでも購入できるコーナーがあると嬉しい。
- 創成高校などの直売所。

bota周辺の施設

- 須坂駅前をもっと整備したほうがよい。送迎があるので駅には行くが、他に寄りたいところがない。ロータリーの駐車スペースも狭くて停めづらい。駐車券がもらえるようにするか、無料駐車場が欲しい。
- 須坂駅周辺が市の中心であるのに暗い上、活発ではない。

その他

- 授乳室や、赤ちゃん用の体重計。
- 休憩スペース（親の仮眠室、リクライニングスペース）。
- シャボン玉本舗の手洗い石鹸など、人と環境にやさしい製品を置いていただけたら嬉しい。
- 除菌シート。
- 携帯充電施設。
- イベントの情報が入手しづらい。良いイベントがある時は、駅周辺からも見えるような表示をしてはどうか。
- 市に対する意見箱の設置（須坂市の子育て事業への希望など書けるようなもの）。
- 室内が暑い。
- 温かみのある雰囲気欲しい。
- 大人用のおむつ替えベッド。

■ その他の主な回答

提供するサービスについて

- 子育て支援を考えるなら、いかに母親を休ませてあげる環境を作るかにあると考えます。十分な休息を与えることで、虐待防止にもなる。子育て支援は子どもを守る支援であると考えます。
- 相談したいと思ったことは何度もありますが、勇気が出ず相談したことはありません。チャットなどで名前を言わなくても気軽に相談できるものなどがあったら相談できるかもしれません。
- パソコン関係の講座が受けられるといいと思う。須坂でもCBTを使った試験等の会場ができると便利だと思う。
- カフェメニューが高め。子ども向けの安いお弁当やパンを売って欲しい。
- 親子でカフェ時間を楽しみたいので、子ども用のドリンクの充実や体にやさしいおやつ、小さな子どもも安心のスペース（畳のような場所）があるとありがたいです。
- カフェ利用時、クレジットカードを使用できるようにしてほしい。
- 利用スペースの料金が高すぎて気軽に借りれない。子育て世代や学生は無料にする、市民割引を行うなど、せっかく素敵な施設なのでもっと利用者を増やすような工夫があると活気が出ると思う。
- 仲間同士の活動にもっと柔軟に対応してほしい。
- 子どもが無料で学習できるスペース。
- 長野市にあった少年科学センターのような、安くて何度も遊びに行きたくなるような施設だと良いです。
- 子どもの一時預かり（日中数時間）があると便利。

イベントについて

- 小学生以上の子も楽しめるようなイベントがあったら嬉しいです。
- 親がリフレッシュできるような企画を考えて頂きたい。児童館を利用していましたが、子ども中心の制作が多く、児童館へ行っても子どもの世話…という感じでした。親が楽しめる講座を提案していただき、その間は、保育士さんが子どもの面倒を見てくれる、親がふっと一人で熱中できるそんな時間が何より大切だと、子育てをされていて感じています。
- セミナーの際、小さな子どもを預けれる託児サービスがあれば参加したい。講師として利用したい場合の方法が分からない。
- カレンダーを拝見して行きたくなりました。
- 音楽や読み聞かせを融合したイベント。
- 子育て世代と学生ビジネスマンが交流できるようなイベントにより、地域の子育てへの理解促進に期待します。
- 子育て世帯の数や夫婦家族のあり方が変わっていく中で、いろいろ柔軟に変化対応を変えていく必要があると思います。

設備や利用方法について

- 多目的トイレにユニバーサルシートを設置してほしい。
- 夜間は入り口が暗いので、もう少し明るくなるといい。
- 現在の予約制がつづくようであれば、ネットで予約や空き状況の検索ができるようにしてほしい。
- 上が小学生なので、一緒に連れて行かれなくてとても不便です。

アクセスについて

- 公共交通の便が悪いので利用に至らないと思います。支援センターを市の中心だけで充実させるのではなく、郊外へも目を向けてほしい。
- バスを出してほしい。
- どこに駐車したらいいかわからない。
- bota前や周辺の塾送迎の縦列停車が迷惑で危険だと感じます。

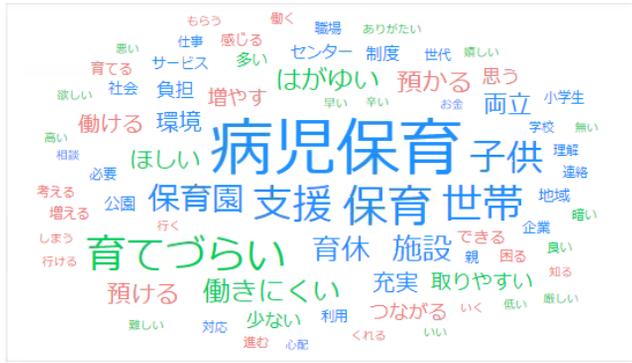
■ その他の主な回答（続き）

情報の発信やアプリについて

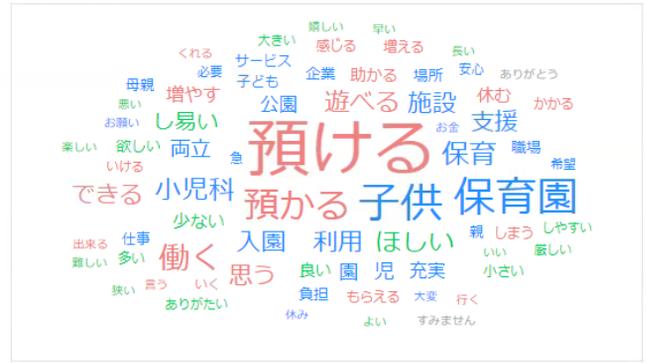
- botaの利用方法が良く分からない為、施設があるのは知っているが、行きづらく結局利用できないままになっています。
- botaは入りにくい。ほんとに入って良いの？なにか飲食しなきゃいけないの？スペースの借り方は？行ったらその机や備品を専有してずっと使っていいの？そういう情報発信をもっとすべきだと思う。使い方の案内看板なども必要だと思う。
- HPが分かり難く情報が少ない。
- 子ども服のフリマなど、たくさんの人に集まってほしいイベントの際は、保育園や児童館でもお便り等に紹介してもらえると良いのではないのでしょうか。
- サイトをみないと分からない情報がありすぎると感じている。企業の掲示板などに情報を掲示してあると少しは目に入るのではないかと思います。

■ 父母別の回答内容の分析

父親の回答内容



母親の回答内容



- 母親の回答内容については、回答者の68.4%が母親であることから全体の傾向と大きな違いは見られなかった一方で、父親の回答内容では「病児保育」という単語が特徴的に出現していた。
- 単語の出現頻度をさらに細かく見ると、「理解」「環境」「制度」といった単語が父親の回答に多く出現していた。
- 特に父親は職場の子育てへの「理解」や、子育てと仕事を両立できる職場「環境」や「制度」について課題を感じている事がうかがえる。子どもが病気の時に柔軟に欠勤・遅刻することができないなどの理由から、病児保育のニーズが高くなっていることが推察される。

父親の回答内容にだけ出現	父親の回答内容によく出る	両方によく出る	母親の回答内容によく出る	母親の回答内容にだけ出現
ハードル 管理職 道路 低い 暗い 有る つくる つける むける 与える 分ける しんどい なりやすい はがゆい 住みにくい 働きにくい 優しい 眠い 細い 羨ましい 育てづらい 詳しい 重い	多い 支援 環境 必要 学校 負担 理解 世帯 考える 早い 小学生 心配 地域 センター 育休 相談 社会 連絡 世代 制度 病児保育 無い 高い 知る くださる 持つ 辛い つながる 進む 取りやすい	ほしい 子供 思う できる 良い 仕事 保育園 少ない 施設 保育 充実 親 職場 場所 感じる いい いく 公園 両立 お金 くれる 増える 増やす 安心 小児科 企業 児 入園 サービス 嬉しい	欲しい 利用 働く 預ける しまう 休む 出来る 大きい かかる もらえる わかる 長い 遊ぶ	ありがとう すみません 小さい 遊べる 子ども よい 連れる しやすい おかしい し易い 働きやすい 手厚い 短い 苦しい うるさい しづらい 快い

- 単語別に母親の回答と父親の回答を分類したものが上記の図表である。
- 特徴的な点は、「働きにくい」という単語が父親の回答にだけ出現しており、一方で、「働きやすい」という単語は母親の回答にだけ出現している。
- この特徴は子育てと就労に関する項目において、母親の子育てと就労の両立にはある程度充実している側面が見られるが、父親の子育てと就労には障壁や課題があるものと推察される。
- このように、テキストマイニングを用いることで、視覚的に傾向を捉えることができる。次項には本事業では直接的な対応は難しいが、子育て世代の中で特徴的な傾向が見られた須坂市における「小児科」の状況と要望を示す。
- 名詞と形容詞の組み合わせでスコアを判定し、須坂市内の小児科が不足しているという指摘や改善・拡充を望む意見が抽出された。

■ 「小児科」を含む回答のうち主なもの

- 市内に小児科が少ない。予約をしても結局待ち時間が長い。その日の診察が予約でいっぱいになり受診したくても次の日になってしまうこともある。特に小さい子どもは待ち時間にぐずってしまうこともあり親としても時間をつぶすのに子どもの相手は大変となる。ぜひ、小児科のクリニックを増やしてほしい。
- 小児科が少ない（かかりたい時にかかれない。すぐ受付が終了してしまう）
- 須坂市内の小児科が非常に少ないです。コロナ禍ということもあり受診するにも予約の争奪戦状態です。子どもは突然体調を崩すので、受診し易い環境を作してほしいです。
- 子育ての心配は、小児科の数が少なかったり、ベビーカーを利用できる環境が少なかったり（バリアフリー）車を運転しないため、何かと不自由をかんじます。
- 小児科の充実。数が少ない為いつも混んでいる。予防接種の予約ですら取りづらい状況。夜間の救急へ行っても小児科を扱えない医師ばかり。小児用の薬なども用意されておらず、須坂市内で小児救急対応のできる病院は一つもない。
- 小児科が少なくいざという時に受診できない、3～4時間車の中で待つといった状態です。子どもに長時間車に乗ったままというのは大変困ります。
- 小児科医の確保。開業は1つしかない。信州医療センターは、特別料がかかってしまう。内科に連れて行っても小さいうちは小児科を勧められる。市として誘致など働きかけてほしい。
- 保育園はすぐに診断を求めてきますが、（特に感染症に関して）小児科に行っても検査は簡単にやらないので対応に困ります。（よほどの高熱とかでなければ）仕方なく小児科に毎回通いますが、おかげで小児科はすごい混雑で予約が取れないこともあります。未満児だと38℃～37℃はわりと簡単にでますが、もう少し熱型を診ていただける体制が取られると良いなど。急を要するかどうか当日どうせ小児科は予約できず行けないので、いっそのことそういう病児を一時的に診てくれるよう看護師配置をしてくれると良いなと思います。

■ 名詞 - ■ 形容詞

名詞 - 形容詞	ネガポジ	スコア	出現頻度
小児科 - 少ない	Q 中立	2.25	9
無料 - ほしい	Q ネガティブ	0.58	8
具合 - 悪い	Q ネガティブ	4.00	7
場所 - 欲しい	Q ネガティブ	1.06	7
施設 - ほしい	Q ネガティブ	0.24	5
支援 - ほしい	Q ネガティブ	0.16	4
医療費 - ほしい	Q ネガティブ	0.16	4
小児科 - ほしい	Q ネガティブ	0.16	4
保育 - ほしい	Q ネガティブ	0.16	4
子供 - 悪い	Q ネガティブ	0.86	3
場所 - 少ない	Q 中立	0.30	3
市内 - 少ない	Q 中立	0.30	3
負担 - 多い	Q 中立	0.24	3
家庭 - 多い	Q 中立	0.24	3
企業 - 欲しい	Q ネガティブ	0.23	3

■ 「病児保育」を含む回答のうち主なもの

- ①病児保育利用のハードルを下げてほしい②小児科を増やしてほしい③上司の世代の意識改革をしてほしい。朝子どもが熱を出して両親共に会社を休めない時に、朝一に小児科の予約・受診をして診断書を入手し、病児保育受入れ先が決まるまでに半日かかることもありました。多くの職場で上司の子育て理解が低いと聞きますが、男性の管理職の多い日本でその世代が子育てと仕事を妻、夫の仕事と分けるのがスタンダードだったのだから当たり前です。行政は、病児保育に頼らず会社を休めば良いというスタンスかもしれませんが、人材不足で上司の理解もイマイチな日本ではなかなか難しいです。
- 保育園に預けている子供の体調不良で仕事の早退や欠勤が増えてしまい、職場に迷惑をかけた、居づらい環境ができてしまうため、病児保育可能な施設が充実してもらえると助かります。
- 病児保育のシステムをもっと使いやすいものにしてほしい。事前登録は仕方がない事としても、保育園入園時に登録できるようにするとか、朝急に利用したいことがほとんどなのに、今のシステムでは翌日からでないと利用できない。小児科を受診しないと診断書はもらえないし、受診してからでは当日の利用受付に間に合わない。

■ 「保育園」を含む回答のうち主なもの

- 未満児の保育園入園を無償化にしてほしい。妊娠、出産を理由に上の子を保育園に預けられるのが産後3カ月までは短いと思う。核家族世帯、周囲に育児の協力者がいない、上の子も小さい（未満児など）条件付きで半年ぐらい預けられると母親の負担も軽減できると思う。
- 3歳未満児は保育園に入っても第2子誕生後3ヶ月で退園になってしまいます。全国的にみると子育て支援として、そのまま入園を継続できる市町村は、たくさんあります。須坂市は、待機児童0と聞きますが、未満児を退園させなければ待機児童が出てしまうのでしょうか。その把握はしているのでしょうか。2歳でも子ども同士の友情や遊ぶ楽しさがあります。退園して友達と遊べなくなったり、新生児の世話で十分に相手をしてあげられない子どもの気持ちはどうなるのでしょうか。どうかご検討を宜しくお願いします。
- 今回から、親が育休の場合保育園に入園できないことになったが、未満児でも育休中は上の子を預けられるようにしてほしい。
- 保育園の充実と、病後保育の充実と拡大。とにかく、会社での子育てへの理解がまったくなく保育園へは女性が行くものだという考えの人が多くて嫌になります。
- 保育園の確保。妊娠時（母子手帳交付時）に保育園入園や希望時期の希望調査をしたりして、預けられる見通しがたっているといいですね。
- 希望の保育園、幼稚園へスムーズに入所できるといいなと思います。未満児の受入れがもっと幅広くあればありがたいです。第4子でも、保育園に在園していないと第〇子にカウントされず、4人も育てているのに保育料が無料でないことに不満を感じる。中野市は就労していない家庭も未満児を保育園に入れることができます。須坂市ももっとスムーズに受入れしてくれれば働きやすくなるのになと思います。
- 未満児は定員を超えることが多く、入所しづらい状況です。求職活動という理由では入所できないと言われました（産休明けの方優先ですと言われました）。これから働くというのは同じなのに。これでは不公平です。保育園・保育士が不足していると感じます。以前の職場は産休がとれる環境ではなく、辞めざるを得ませんでした。福利厚生が充実していない企業もまだまだたくさんあります。再スタートをしたくても、子どもを預けられないことにはどうにもなりません。
- 子どもが11ヶ月の時に復職しましたが、当時は週20時間以上の労働をして保育園に入園可能な要件を満たすか、家で無収入で暮らすかの選択でした。無収入は困るので就労したが、週20時間以上の労働は、ほぼワンオペ育児の私にはとても厳しく、過酷でした。可能であれば子どもが3才くらいまでは、週15時間程度の労働で過ごしたかったです。私の当時の希望としては、週20時間未満の労働でも、日常的に、短時間でも預けられる施設があり、かつ待機なしで預けられることでした。今はこども園もでき、改善されていると思います。
- 保育園等、子どもを預けられる施設等を年度契約ではなく、その人の状況にあったタイミングで利用できるようにしてほしい。少子化と言っているわりに他の都道府県、市町村に比べ支援などが少ない。須坂市ならではの支援等を増やし実施して欲しい。
- 親の就労に関わらず、子どもが1歳頃から希望者全員、保育園や幼稚園で集団生活できるようにしたら良いと思う。目的は、子どもの発達やコミュニケーション能力向上のため。子どもが集団への適応の経験が豊富だと、学童期での対人関係や集団生活でのつまづきを乗り越える力を持つと思う。
- 障がい児は何とか保育園に入れたとしても、親がその子の病院、リハビリ、支援会議などで仕事に行けないことが多く、非常に肩身狭い思いで働いています。健常の子と同じ保育申込み条件では、疲弊してしまいます。切に緩和を望みます。
- 保育園の連絡について。園と保護者が双方向に連絡のできるツールがあれば、時間にとらわれずに連絡でき便利だと思います。欠席連絡が集中して電話が繋がらないといった事態も避けられると思いますので、検討をお願いします。欠席連絡のほかにも、出欠席の集計、相談や問い合わせ、書類の電子送付等、様々な使い方が出来ると思います。

■ 「預ける（預かる）」を含む回答のうち主なもの

- 残業などで子どもの迎えに行く場合、少しでも長く預かって頂く場所が近隣に欲しかったです。
- 仕事でどうしても子どもを預けなければならなくなってしまった場合、気軽に預けられる施設があると有難いと思いました。
- サービス業などで土日祝に仕事でも預かってくれる施設があると良い。
- 急な病気（発熱、下痢、咳等）時にすぐに預けられるサービスが欲しい。町ごとにファミリーサポートの方がいて電話で連絡できずすぐに預けられるような、町・地域で子育てができると理想です。
- 子どもを連れて遠慮なくいける職場があるとありがたい。子どもが急に休むことになった時に預けられるサービスがいくつかあると思うが、年に数回などの場合、登録するのに壁があり、結局いざというときに使うことはできない。夏休みや冬休みの間だけでも、預けられる民間の預かりが充実すると良い。
- 料金が安く、すぐに対応可能な託児所を増やして欲しい。ファミサポや市内の園での託児は、急な預かりはできず、手続きも面倒。長野市にあるキラキラキッズ、キッズランド・レオ、けんけんぱっ等の施設は、託児がスムーズであり利用し易い。須坂市内にも同様に気軽に預けられる場所があると良い。育児中の親が安心して働ける、社内託児所のある職場を増やして欲しい。
- 一番大切なのは、安心して子どもを預けられる環境があるかどうかだと思います。子どもの体調が悪い時、仕事を休むのは母親・・・が当たり前の社会ってどうなのか。と思います。企業や社会全体への啓蒙も子育て支援の一つと考えていただきたいです。私はファミサポの提供会員に登録しており、再就職の面接を受けるお母さんからお子さんを預かったことがあります。お母さん方は、就職活動の際にも子どもを預ける場所が必要なんだと感じました。
- 保育園や託児サービスを受けられるのは未就学児だが、小学生は利用できるサービスが少ないように思う。急な学級閉鎖やクラブ閉鎖があった時に小学生低学年では一人で留守番やオンライン授業はとても難しい。botaの空いてる会議室などでせめて午前中だけでも預かってもらえる場所があると嬉しい。
- 子どもを預けられる施設の充実、そこで働く人の人材確保。病児が出た時の緊急預け先の確保。これらの施設を世帯の家計負担にならないような金銭的支援、または全額公費。このような環境にならないと、これから子育てしていく若い世代は子どもを産まないだろう。行政としても予算が限られてるとは思うが、この課題を解決しない限り須坂市の人口はジリ貧だと思う。

■ その他の回答

就労に関するもの

- 優良企業を誘致して就職先を斡旋して欲しい。
- 行政が努力しても、企業が理解してないと、何も変わらないと思う。有休があって取得できる（利用もできる）が、いざ、子供が具合悪くなった時、代わりの人がいないと休めない状況です。今は中学生になったので、具合悪くなることも少なくなりましたが、低学年の頃は、休みたいと言わずらかった。もちろん、今も言いにくい。自分が具合悪くなった時も人がいないと休みにくい。前もって有休申請を出しても休めないこともある。
- 職場の環境が悪いので、行政側から働きかけてほしい。今の職場は人手不足で、上司は休み申請をOKしてくれるが、一緒に働いている現場の人たちは良い顔をしない。子供の行事で休むと「私たちは休まず働いている。誰かが休むとしわ寄せが誰かに行くわけで、それを思うと休むという考えにならないはず。

行政に関するもの

- 防犯カメラを設置して欲しい。夜間の街燈を整備して欲しい。スクールバスを拡充して欲しい。
- 財政面で厳しいと思いますが、子育て手当を充実させてほしい。例えば、出産したら市の出産手当20万円、子供も3人目だったら市内の施設公共交通費世帯分50%引き等。子育てに優しい町を作ってほしい。小学校の給食費無料も実現させてほしい。須坂市をもっとアピールしてほしい。アピールすることで全国から注目され人口も増え子供も増えると思います。アピールするには大胆な政策を実現させてほしい。

称賛のコメントや今後の期待など

- botaの親子クッキングに以前参加させていただきました。平日、朝～晩まで仕事なのでこうやって親子で参加できるイベントが近くで行われていて、とても嬉しかったです。とても充実した時間でした。
- 駅前にbotaのような施設ができたこととても良かったと思います。まだ、カフェや移動キッチンしか利用したことはありません。少し入りずらさを感じており、どのように利用できるのかわかりずらさがあります。利用方法など分かりやすく案内があると良いと思いました。コワーキングスペースは有料のため、学生の子供には利用しづらいと高校生の子供が話しておりました。落ち着いて学習できるスペースがあることは、魅力的な様でした。子供が小さい時に急な用事、勤務変更で困ったことがあり、急でも託児がお願いできる場所があると助かると思いました。また、託児をお願いして母がりフレッシュできるような講座があると（短時間でも）息抜きの場になり他の母との交流にもなり良いのではないかと思いました。子供が大きくなってきたので、少し時間のある時にスキルアップ、息抜きになる様な講座があれば参加してみたいと思います。子育てと仕事が両立して楽しく生活できる様な支援を宜しくお願いします。